

実践事例発表レジュメ

研修・研究事業名	吉賀町サクラマスプロジェクト
実践事例名（テーマ）	学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもたちを育てよう！
事業主体（実施機関）	吉賀町教育委員会
連携・協力機関等	公民館、小中高等学校、保育所、PTA、地域団体（自治会、老人会、婦人会 など）、社会教育委員の会
発表者	課長補佐 城戸明美

期日 平成29年 7月24日

内 容

「サクラマス」は、川で生まれ育ち、一旦海に下り、再びふるさとの川に戻ってくる「ヤマメ」。地域の子どもは地域で育て、そして地域に返す。このプロジェクトの目的は「ふるさとでの学びや体験をもとに、いつの日かふるさと吉賀町を支える人材（財）の育成」である。豊かな学びや体験、豊かな人との関わりをキーワードに、学校での学びや体験の充実、子どもの地域活動の充実、地域の教育力の充実の3つを柱に活動に取り組んでいる。

子ども達の活動では、学校でも地域でも応援団が活動を支えている。そして、恵まれた自然環境を活かして、サクラマスは大きく成長していている。地域の各種団体・機関を網羅した「サクラマスプロジェクト地域会議」も町内全地域で立ち上がり、子ども達を中心としたネットワークが構築できている。